

# 年少者日本語教育学を考える会・第7回研究集会

## 実践をどう語り、どう伝えるか(2)

### —伝わる実践の“記述”を考える—

#### 実践報告と全体討論

■日時： 2月27日(日) 13:30~17:00

■場所： 早稲田大学・早稲田キャンパス 22号館 201号室

#### 【趣 旨】

「年少者日本語教育学を考える会」では、「年少者日本語教育における実践研究とは何か」というテーマを探究しています。2010年11月には第6回研究集会を開催し、「実践をどう語り、どう伝えるか」といったテーマで実践発表と討論を行いました。第7回研究集会では第6回に引き続き、実践報告の発表とそれに基づく討論を行います。今回は、浜松と鈴鹿という2つの地域の小学校でJSL児童への日本語支援を実施している実践者からの報告に基づき、実践を記述する意義や方法、実践の結果と考察、そして、実践者自身の気づきや変容をどのように捉えるか、参加者のみなさんと一緒に考えたいと思います。

また、第7回研究集会では、実践報告ののちに、ラウンドテーブル形式で、実践についてじっくりと語り合う時間を持ちます。参加されるみなさんの日々の実践についても、このときに話し合ひましょう。その後、全体討論において、実践に関するそれぞれのテーブルでのやりとりを参加者全員で共有します。このふたつのセッションを通して、実践を語ることと記述することが実践研究としてどのように位置づくかを、深めたいと思います。みなさん、どうぞ奮ってご参加ください。

#### ■プログラム

13:30~13:40	趣旨説明
13:40~14:30	実践報告(1)+QA
14:30~15:20	実践報告(2)+QA
15:20~15:30	休憩
15:30~16:30	ラウンドテーブル形式の話し合い
16:30~17:00	テーブルからの報告とまとめ



無料!

#### ■報告者

近田由紀子氏

静岡県浜松市立瑞穂小学校教諭

山田雅子氏・中川智子氏

三重県鈴鹿市立牧田小学校教諭

年少者日本語教育学を考える会；川上郁雄（早稲田大学）、池上摩希子（早稲田大学）、齋藤ひろみ（東京学芸大学）、石井恵理子（東京女子大学）、野山広（国立国語研究所）